陳述書の作成について

（注意事項と記載例）

横浜家庭裁判所人事訴訟係

※　注意事項

「陳述書」は，裁判で「証拠」として扱われます。

　　裁判で問題になっている事実関係について，あなたの認識を述べるものです。記載に当たっては，時系列に沿って，いつ，どこで，誰が，どのようなことをしたのか，具体的に書いてください。

相手方の主張に対する反論についても同様に，相手方の主張するような事実はなかったという場合は，実際にはどのような出来事があったのか，いつ，どこで，誰が，どのようなことをしたなどの点を明らかにして，具体的に書いてください。

※　記載例は，次の頁を参照してください。提出に当たっては，各ページの最後にページ番号を書いてください。

|  |
| --- |
| 事件番号　令和●年（家ホ）第●●号陳述書　　　　　　　　　　　　　　　　作成年月日　　　　令和●年●月●日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（氏名（自署））　　　　　㊞　１　婚姻に至るいきさつ　　………２　（相手方と別居をしている場合）別居に至ったいきさつ　　【別居の直前のことに重点を置いて書いてください。】　　………３　婚姻関係が破綻したことについて相手方に責任があると主張する場合，その理由となる具体的な事実関係　　………４　相手方の主張に対する反論　（１）　相手方の「●●●」という主張について　　　　………　（２）　相手方の「●●●」という主張について　　　　………　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上- 1 -　【←ページ番号を入れてください。】　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |